

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（134）」
2. 日時：令和4年4月20日（水）16時10分～17時40分
3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室
4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）
原子力規制庁：名倉安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官※、磯田係員、松末技術参与、田島主任技術研究調査官※
北海道電力株式会社：藪執行役員 他6名※
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 提出資料
・ 泊発電所3号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁タニです。
0:00:05	それではヒアリングを始めたいと思います。今日のヒアリングの案件としては、泊発電所 3 号炉、
0:00:12	標準応答スペクトルを考慮した地震動評価についてということですので、まず資料の説明の方を北海道電力からお願いいたします。
0:00:23	はい。北海道電力松村です。
0:00:26	藤泊の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価、1 月 14 日の審査会後における指摘事項について取りまとめましたのでご説明させていただきます。
0:00:40	説明はタカハシから説明時間は 30 分程度を予定しておりますよろしくお願いいたします。
0:00:49	はい。北海道電力高橋です。それでは資料の方をご説明させていただきます。
0:00:55	ページめくっていただきまして 2 ページ目をお願いいたします。
0:00:59	こちら、1 月 14 日審査会合における指摘事項を、とそれに対する回答方針を記載してございます。
0:01:07	若く指摘事項は三つにまとめて記載してございます。
0:01:11	一つ目の、後、指摘事項でございますが、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価にあたり、既往の地下構造モデルが異なるモデルを用いることの妥当性が示されていない。
0:01:23	また、新たな地下構造モデルを設定するにあたり、減衰定数を大きく見直すことの妥当性が示されていないとの指摘をいただいております。
0:01:33	それに対して回答方針として、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価にあたり、
0:01:39	現状の観測記録等の限られたデータでは、地下構造モデルを見直すことの妥当性を示すことが難しいことから、
0:01:47	既往の地下構造モデルを用いて評価を実施しております。
0:01:51	こちら、対象ページにつきましては 8 ページ 9 ページを、
0:01:55	が対象となっております。8 ページをお願いいたします。
0:02:01	こちらは地震動評価に用いる地下構造モデルの検討方針を記載してございます。
0:02:07	基本の地下構造モデルにおける減衰定数は、大きな裕度を持って設定されていると考えてございますが、先ほど 2 ページで回答方針としてご説明した通り、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	現状の観測記録等の限られたデータでは、地下構造モデルを見直すことの妥当性を示すことが難しいことから、
0:02:26	安全側の評価となる既往の地下構造モデルを用いて標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を実施いたします。
0:02:34	なお参考資料4-2に、既往の地下構造モデルにおける減衰定数の検証結果をお示ししてございます。
0:02:43	ページ飛びまして58ページ目をお願いいたします。
0:02:49	こちら、前回会合資料と同様の内容となりますけれども、既往の地下構造モデルの減衰定数に関する検証結果をお示ししてございます。
0:02:59	前回会合にてご説明させていただいておりますので、詳細な説明につきましては割愛させていただきますが、結果としまして、新たに獲られた、北海道胆振東部地震を含めた、
0:03:11	地震観測記録を用いて、改めて同定解析を行い、
0:03:15	既往の地下構造モデルの減衰定数の検証を行っております。
0:03:20	検証結果につきましては62ページに記載してございます。
0:03:24	62ページをお願いいたします。
0:03:28	結果としまして、北海道胆振東部地震の観測記録を踏まえた同定解析結果及び企業の同定解析結果とともに減衰定数4%以上がえられていると。
0:03:40	ということから、当社としましては、既往の地下構造モデルで設定した減衰定数0.5%になってございますが、こちらについては大きな裕度を持った設定となっているものと考えてございます。
0:03:52	しかしながら、先ほどご説明した通り、
0:03:56	現状の観測記録等の限られたデータだけでは、地下構造モデルを見直すことは難しいと判断しまして、既往の地下構造モデルを用いた評価を実施いたします。
0:04:07	ページ戻っていただきまして9ページをお願いいたします。
0:04:12	地震動評価にあたっては、既往の地下構造モデルを用いますが、基本の地下構造モデル、こちらにつきましては地震基盤を標高をマイナス2000メートル、解放基盤表面を標高0メートルとを設定してございます。
0:04:26	したがいまして、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を実施するに当たりまして、
0:04:31	既往の地下構造モデルに対して地震基盤相当面を新たに設定いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:37	基準類に、基準地震、地震基盤相当面ですね、地震基盤相当面がV s 2200 メーター／s e c 以上の地層と定義されていることを踏まえまして、
0:04:47	標高-990 メーターの上限を地震基盤相当面と設定いたします。
0:04:55	ページへ戻っていただきまして2 ページ目をお願いいたします。
0:05:00	続きまして、二つ目の指摘事項でございます。
0:05:04	二つ目の指摘事項をL A N 水槽を用いた模擬地震はの振幅包絡線の設定において、
0:05:10	主要動の継続時間を適切に設定するためのだらの手法に用いる地震規模について、少なくともM7.0 以上とすることとのご指摘をいただいております。
0:05:21	それらに対し回答方針としましては、檀水槽を用いた模擬地震はの振幅包絡線の設定において、N o d a らの手法に用いる地震規模をM7.0 として検討を実施しております。
0:05:35	対象ページにつきましては12 ページから14 ページになります。
0:05:39	12 ページをお願いいたします。
0:05:43	先ほど生越方針をご説明した通り、避難水槽を用いた模擬地震版の作成におきましては、N o d a らによる振幅包絡線の経時的。
0:05:54	変化の設定としまして、地震規模を全国共通に考慮すべき地震の地震規模Mw6.5 程度未満を踏まえまして、
0:06:03	主要動の継続時間を適切に設定するとの観点から、地震規模M7.0 といいたします。
0:06:11	また、等価震源距離につきましては、震源近傍を想定し、X e q 10 キロメートルとを設定し、検討を実施しております。
0:06:20	結果としまして、前回会合でお示ししました継続時間より2 秒弱程度、継続時間が長い振幅包絡線を設定してございます。
0:06:30	ページ、13 ページ目14 ページ目になりますが、それら設定しました振幅包絡線を用いた模擬地震版の作成結果をお示ししてございます。
0:06:41	結果としまして作成した模擬地震羽賀日本電機協会2015 に示されております、適合度の条件を満足していることを確認しております。
0:06:52	ページ戻っていただきまして2 ページ目になります。
0:06:57	続きまして三つ目の指摘事項でございます。
0:07:01	三つ目の福士哲輝事項として、観測位相を用いた模擬地震はの検討において、敷地でられた観測だけでなく、敷地周辺の観測記録を整理し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:12	標準応答スペクトルを考慮した地震動に反映する必要性について検討することとのご指摘をいただいております。
0:07:20	それらに対し、敷地周辺の観測記録、観測点における観測記録の収集を実施しまして、その結果として収集した観測記録に特異な形状のものは形はないと。
0:07:32	ということから、
0:07:34	標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に観測記録の位相特性を、
0:07:38	考慮する必要はないことを確認してございます。
0:07:42	また、それらを踏まえまして、標準応答スペクトルに基づく地震動評価としましては、乱數位相2を用いて作成した模擬地震はを代表としてございます。
0:07:53	具体的には16ページから42ページに内容を記載してございます。
0:07:58	まず、16ページ目をお願いいたします。
0:08:03	模擬地震は、の大井層として用いる観測記録としては、敷地近傍で発生しましたMw6.5程度未満の内陸地殻内地震の敷地で獲られた観測記録を用いるのが、
0:08:15	理想的と考えておりますが、
0:08:17	前回会合でご説明した通り、敷地において、標準応答スペクトルに適用できる観測記録はえられておりません。
0:08:26	そこで、敷地周辺の観測点における記録を用いた検討を実施しております。
0:08:32	観測記録の収集に当たりましては、敷地周辺の聞くネット観測点から、16ページに示すすべての条件を乱す観測記録を収集いたします。
0:08:42	具体的には、泊発電所から半径30キロ以内の観測点であること。
0:08:47	さらに、地震規模としては、M5.0以上の地震であること。
0:08:52	さらに震央距離として、観測点から半径30キロ以内で発生した地震であること。
0:08:58	さらに、震源深さとして30キロ以内の地震であること。
0:09:01	以上す、四つの条件すべてを満たす記録を収集してございます。
0:09:07	17ページ目をお願いいたします。
0:09:11	こちら泊発電所から半径30キロ以内の大きくネット観測点をお示ししておりますが、
0:09:17	こちら30キロ以内の観測点としては6観測点ございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:22	こちらの観測点から信用距離が 30 キロ以内で観測されたM5.0 以上の記録というのを探しましたが、結果としてございませんでした。
0:09:33	従いまして、ページ 16 ページに示した収集条件では、模擬地震理想の検討に用いる観測記録が見つからなかったということから、
0:09:43	地震規模、または収集範囲の収集条件を拡大しまして、観測記録の収集をさらに実施しております。
0:09:52	1 ページ 18 ページ目をお願いいたします。
0:09:56	まずは地震規模に関する収集条件を拡大しまして、観測記録の収集を試みております。
0:10:03	具体的には、表の上から 2 段目になりますが、先ほど地震規模M5.0 以上としていた収集条件を観測されたすべての地震規模の地震として収集をさせていただきます。
0:10:16	19 ページ目をお願いいたします。
0:10:20	先ほど示しました収集条件に適合する関係速記録として、3 地震後記録の観測記録を応需収集させていただきます。
0:10:30	20 ページ目以降に、収集条件に適合する。
0:10:34	観測記録の信用分布、さらには加速度時刻歴は形を示してございます。
0:10:41	ページ、飛びまして、
0:10:43	25 ページ目をお願いいたします。
0:10:49	続きまして、観測記録の収集範囲に関する条件、こちらを拡大しまして、観測記録を収集、観測記録の収集を試みさせていただきます。
0:10:59	具体的には、25 ページ表の一番上になりますが、先ほどは泊発電所から 30 キロ以内の観測点を収集対象としてございましたが、その条件を拡大しまして、北海道西部、
0:11:13	に位置する、聞くネット観測点と、
0:11:17	収集対象という形で商圏を拡大してございます。
0:11:21	26 ページ目をお願いいたします。
0:11:25	こちら北海道西部に位置する聞くネット観測点をお示ししてございます。
0:11:30	図の黒い色の観測点が新たに収集対象となる観測点となります
0:11:35	また図中のグレーですね、グレーの観測点につきましては、泊発電所から 30 キロ以内の観測点という形になります。
0:11:44	27 ページ目をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:48	先ほどの収集条件に適合する観測記録として、一次審査記録の観測記録を収集してございます。
0:11:57	28 ページ目以降に、収集条件に適合する観測記録の信用分布、さらには、時刻歴は形をお示ししてございます。
0:12:07	ページ、飛びまして 3、31 ページ目をお願いいたします。
0:12:14	先ほど収集条件を拡大しまして、収集しました八つの観測記録につきまして、時刻歴は形の形状等を 31 ページ目以降で確認してございます。
0:12:27	また、時刻歴保険の最大振幅、こちらの方を基準化しまして、共振分の継続時間についても、確認を実施してございます。
0:12:36	なお、比較のため、継続時間ですね、継続時間の比較のため、L A N 水槽を用いた模擬は、の振幅包絡線の設定で用いました N o d a らに基づく振幅包絡線を重ね描いております。
0:12:50	赤色が観測記録、黒い色が振幅包絡線という形になってございます。
0:12:55	形状等の確認結果を 34 ページに記載してございます。
0:13:00	34 ページをお願いいたします。
0:13:05	収集した八つの観測記録の加速度。
0:13:08	時刻歴は系につきましては、パルスはやや振幅の大きい構造区羽田安東、特徴的な葉系の形状が見られないということから、収集した観測記録に特異な形状のは形はないことを確認してございます。
0:13:23	また、収集された観測記録が、地震規模の小さい地震の観測記録でありますので、N o d a らに基づき、M7、X e q 10 キロから設定しました共振分の継続時間よりも、
0:13:37	優位に短いことも併せて確認してございます。
0:13:42	結果としまして、収集したアーカンソー記録につきましては、特異な形状のは形がないことから、観測記録の位相特性を考慮する必要はないということで考えてございますが、
0:13:53	一方で、観測記録が収集されているということを踏まえまして、収集された観測記録のうち、地震規模が大きく、さらに、地震基盤相当面の S 波速度との対応を考慮しまして、
0:14:06	観測点の S 波速度が最も大きい。
0:14:09	胆振地方の地震、M5.6 の、喜茂別の記録を用いまし用いまして、茂木は、の検討を実施いたしております。
0:14:19	35 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:22	こちら、茂木は、の検討に用います観測記録と線として選定しました喜茂別の観測記録の応答スペクトル、さらには時刻歴は形をお示してございます。
0:14:34	なお、茂木は、の検討におきましては、水平方向につきましては、最大加速度が大きい、E W方向を代表発表して検討を実施してございます。
0:14:44	36 ページ目 37 ページ目をお願いします。
0:14:49	こちら、観測位相を用いた模擬ハアの作成結果となっておりまして、結果として作成した模擬は、につきましては、日本電機協会 2015 に示される適合度の条件を、
0:15:00	満足していることを確認してございます。
0:15:04	38 ページ目をお願いいたします。
0:15:09	先ほどご説明させていただきました、L A N水槽及び観測室を用いて検討しました、地震基盤相当面における模擬はを用いまして、
0:15:19	1次元波動論により、解放基盤における地震動を検討いたしております。
0:15:25	38 ページ目には、検討に用いる地下構造モデルとしまして、既往の地下構造モデルをお示ししてございます。
0:15:33	39 ページ目をお願いいたします。
0:15:37	こちら、評価した解放基盤表面における模擬はお示してございまして、左側がL A N水槽は、右側が観測位相はなってございます。
0:15:47	なお、最大加速度につきましては
0:15:50	39 ページにお示しした通り、水平方向ですね、水平を高欄水層の水平方向で 693、観測位相の方で 674 という形になってございます。
0:16:03	40 ページ目をお願いいたします。
0:16:07	作成した茂木は、脳症特性、ここでは周波数特性に関する分析としまして、乱數位相はと観測位相はの解放基盤表面での応答スペクトルを比較してございます。
0:16:19	赤色がL A N水槽は青色が観測位相はという形になりますが、結果として、両者につきましては同程度であることを確認してございます。
0:16:30	41 ページ目をお願いいたします。
0:16:33	続いて茂木は、の諸特性のうち、継続時間に関する分析として、時刻歴は系の比較を実施してございます。
0:16:42	こちら時刻歴は形を比較しますと、主要動の継続時間につきましては、欄水槽のほうが長いことを確認しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:50	また、最大加速度につきましても、水平方向鉛直方向ともに、乱数位相はの方が大きいことを変え、
0:16:58	大きいことを確認してございます。
0:17:02	ページめくっていただきまして42ページ目をお願いいたします。
0:17:07	これまでの検討結果のまとめとなります。
0:17:10	これまでの検討結果より、敷地周辺の観測点における観測記録を収集した結果、特異な形状のは形はないこと、さらには、乱数位相と乾燥技師位相の模擬はの解放基盤表面での応答スペクトルが同程度であること。
0:17:25	さらに、乱数位相の模擬は、の方が最大加速度が大きく、比較的振幅の大きい波、主要動の継続時間が長いことを、以上3点を確認してございます。
0:17:37	それらを踏まえまして、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価としましては、乱数位相を用いて作成した茂木は、を代表といたします。
0:17:48	本文のご説明につきましては以上となりますが、44ページ目以降に、各種参考資料を記載してございます。
0:17:57	46ページ目以降になりますがこちら、昨年10月22日の審査会合資料となりますが、既往の地下構造モデルの設定根拠、
0:18:08	つきまして記載をしてございます。
0:18:11	また、58ページ目以降につきましては先ほどご説明した通り、前回審査会合の資料と同様となりますが、胆振東部地震を含めました観測記録を用いて、改めて同定解析を実施した結果をお示ししてございます。
0:18:28	64ページ目以降、4-3ということで64ページ目以降につきましては、観測記録の収集対象となりました聞くネット観測点、こちらの地盤情報についてお示ししてございます。
0:18:42	最後になりますが、4-5として84ページ目、85ページ目になりますが、
0:18:49	こちらにつきましては、昨年10月22日で御所の審査会合にてご説明しました敷地ごとに震源を特定して策定する地震動、
0:18:59	こちらと、標準応答スペクトルを考慮した地震動、こちらの比較、さらに85ページ目につきましては、標準応答スペクトルを考慮した地震動以外の、
0:19:10	震源を特定せず策定する地震動、そちらとの比較をお示ししてございます。
0:19:17	資料につきましては、以上でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:25	はい規制庁タニです。説明ありがとうございます。
0:19:28	資料の方説明の確認事項を入りたいと思います。
0:19:33	ですねまず私の方からなんですけど、今回の資料というのが、前回会合から、
0:19:40	大分というかもうほぼほぼ、
0:19:44	全体が変わってて、大きな変更としては、既往の地下構造モデル、新しく、前回の会合では、地下構造モデルを設定してたっていうことを考えを改めて既往の地下構造モデルを使いますよと。
0:19:57	いうことで、
0:19:59	加えて観測記録も改めて整理したということで、ほぼほぼ、1から作り直してるような資料にはなると思い、思っています。
0:20:10	それで、
0:20:14	説明の流れという資料の構成っていうのは、大体理解できてちょっと最初から細かい話になるかもしれませんが、
0:20:24	今回観測喜須来観測椅子を用いた模擬地震はの検討ということで、敷地の周辺ですね、観測記録を
0:20:34	改めて整理していて、
0:20:36	D棟、
0:20:39	最終的に
0:20:43	等、
0:20:44	観測事実観測記録からの模擬地震は、その位相を用いた模擬地震はっていうのを、
0:20:52	胆振等、胆振地方の地震、マグニチュード 5.6、
0:20:57	といったのを作っ。
0:20:59	使っているということなんですけど、これ
0:21:03	前回の会合では、長野県北部のMW6.3 っていうのを、
0:21:09	観測記録を用いた模擬地震はって使ってたと思うんですけど、この辺の考えを、前回とどういうふうにかう変えられてるのかっていうのが、
0:21:20	ちょっと資料を見てもよくわからなくて、その辺の考え、改めてこういった検討をしたときに、
0:21:27	こちらの胆振地方の地震の方が、
0:21:30	検討するのに適しているっていうふうにかう考え、直したんだと思うんですけどその辺どう考えてるのか。
0:21:37	説明いただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:51	北海道電力、野尻です。
0:21:54	えっとですねこちらの観測位相観測記録の収集に関しては前回の資料では89地震検討チームで使っていた89地震の中から
0:22:07	震源特性という観点が主要動の継続時間とか震源特性という観点でちょっとピックアップして糸魚川の観測記録は26以上で、比較的近いもの。
0:22:19	逆断層タイプだったということでちょっとサイトから離れてるんですけどピックアップしたと。
0:22:24	検討してました。1月8日の審査会合の中のご指摘の中で、やはり伝播特性というようなキーワードがあって、改めて敷地
0:22:34	の記録がない中でどう使っていくかというふうに考えたときに、できるだけ地質構造、
0:22:41	の観点で敷地に近い。
0:22:43	より伺ったところピックアップすべきだろうということで今回また記録を改めてサーベイしたと。
0:22:49	その結果として南中と5クラスの地震がありましたので、それについて使っていくということでその中でも
0:23:00	観測点の地中観測点のVsが大きい、地震基盤相当に近いものっていうようなことで機能別っていうふうに流してピックアップしたと。
0:23:09	ことでちょっと前回まではもともと我々の考えとしては震源特性のイメージを持ってたんですが、
0:23:15	特性なりサイト特性への影響を観測するという観点で、
0:23:20	部分と、
0:23:21	ことで家族の扱いを変えたということになります。以上です。
0:23:31	%規制庁タニです。まずまずですねその辺の考えがあるのであれば、ちゃんと資料にして欲しいのと、さっきその説明を聞くと、今回の、何て言うんですかね
0:23:43	選んでる地震の中に近い震源から近いところになってるとか、逆断層だとか、もうそういった気先ほど説明していただいたキーワードっていうのは、
0:23:55	なくなってしまったのか、それとも、そういったことはちゃんと考えた上で選んでるのかとか、そういったこともですね、ちょっと加えて説明いただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:09	はい。北海道電力野地です。そうですねちょっと資料に書ききれてないんで申し訳ありません後程追加をしたいと思いますけど、今回選んだマグニチュード 5.6-地方の地震についても逆断層タイプの地震であることは確認してます。
0:24:23	C、いわゆる新の震源近傍に近いものとして今比褶曲 30 キロというふるいをかけてますので、その中の記録ということで選んでいるのかなと思って、
0:24:35	見ます。
0:24:37	以上です。
0:24:40	はい。規制庁刀禰です。そういったお考えがあるんだったら、
0:24:46	資料に残していただきたいのと、ちょっとそうなってくると、
0:24:51	27 ペイジーですね、結局、
0:24:58	この胆振地方の地震を選びましたそれは規模が大きいからですっていうのはわかっ。
0:25:04	違うのはここじゃないな。
0:25:08	なんですけれども、さ、最終的に金喜茂別ですかね。
0:25:14	ここを選びますその理由は、
0:25:17	S 波速度が、
0:25:22	高いからですといった説明だったと思うんですけれども、
0:25:26	これってでもさっきの近いとかそういう
0:25:30	観点でいくと、
0:25:32	大滝とかの方が近いし、この市なんていう何て言うんですかねは苦勞っていうんですかね、こっちの方がなお近いと。
0:25:42	S 波速度って比べると確かにこの
0:25:46	は苦勞っていうのは、
0:25:50	しら白老ですか、白老っていうのは、
0:25:53	速度遅いんだけど大滝っていうのんなると、喜茂別ですかねこれと、
0:26:01	あんまりこう、
0:26:03	大きな違いがなくてむしろ信用距離はすごく近いっていうような中で、どうしてその、
0:26:10	S 波速度、
0:26:11	だけをですね、特に中、注視してるのかっていうのが、
0:26:16	よくわからなくてその辺ちょっと、何かあれば説明いただけますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:25	北海道電力野尻です。うんそうですね3、27ページで書いております。特命部長自身としてはその記録が30キロぐらいあった後でその中でどれを使っていくかっていうふうに考えた時にまず30キロぐらいということで比較的近いし、近い記録という意味では3記録。
0:26:43	ある意味ちょっと並列というか、特にそこに振り分けてないと。
0:26:48	一番重視したかったのが観測。
0:26:51	ちょっとビジネスですね特に調べるルートAと地中の観測点の技術の79条ということでちょっと泊サイト同じ地震基盤相当面と、
0:27:01	ところとしては、ちょっと小さいVsが小さいというところで落としておりますそれから時々別ってというのは、距離と、物が何とも言いがたいところあるんですが我々としては速度が大きい方を重視したと。
0:27:17	いうことになってますそれと、結果としてですけど獲られてるは形として、どちらもそれほど特徴的な差がないということだと思っておりますその辺が、
0:27:28	ビジネス34ページ。
0:27:30	辺りですかね34ページの方。
0:27:33	左側が大滝宮垣別ということで観測記録を、
0:27:37	重ねてますが比較的どちらも同じような特徴的なものではないというか、いうことがあったので、Vsの大きい方を選んで、今回は検討したということでございます。以上です。
0:27:51	はい。規制庁谷です。ちょっと引き続き確認したいことあるんですけど、あのですね声がか何か割れてて、
0:27:58	聞き取りづらくて、言われた説明された内容今、今の説明わかりました。でもちょっと聞き取りづらいんで、多分ボリュームをちょっと避けるのがいいのかなと。
0:28:10	これぐらいでどうですかちょっと近近かったですからこれぐらいで聞こえますかね。
0:28:18	もう1回ちょっとテストしてもらっていいですか。
0:28:20	すいませんはい、北海道電力野尻です。聞こえますでしょうか。大丈夫です。これぐらいの、すいません離れてしゃべっていただけたらと思います。
0:28:31	はい。
0:28:33	続きですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:36	これ本当にS波時計に着目して選んだんですが例えば何か、SN比だとか入射角だとかなんかは、僕もそんなにこういった事例、例を出せるわけじゃないんですけど、
0:28:50	何か他のところにはこう注目はされてるんですかされてないんですか最大加速度だとか、
0:28:57	もう本当に、S波速度だけで、これが適ししている、もちろんあんまり観測記録としては変わらないからっていう説明ありましたけど、
0:29:07	本当に変わらなくてS波速度だけに着目してるのかっていうのを確認させてください。
0:29:14	はい。北海道電力野尻です。そうですね今言われたキーワードで言っても例えばSN比であればこれ、どちらの記録もそれなりのシグナルレベルにはあるということで差がないという判断になりますし、
0:29:25	今入射角なりってというのは、これターゲットが震源を特定せずという観点になりますのでどっからくるかわかんないというものを相手にするので特にそこをまた決めて、
0:29:35	こういう場合だと良いということにはできないかなという判断の中で、
0:29:39	一番見えてる条件の中で決めやすい決めやすいっていうんですかね決め手になるのが速度だということを決めています。
0:29:47	以上です。
0:29:50	はい規制庁タニすま事実確認は、はわかりましたお考えは確認できました。
0:29:59	それで、ちょっと次の話にも移ろうと思いますけど、これ実観測記録から、模擬地震は作ってるってことなんですけども、
0:30:11	これ
0:30:14	作り方というかですね、こういった作り方をして観測記録から、
0:30:24	標準応答スペクトルに適合する地震動を作ってるのかっていうのをですね、
0:30:31	適合性のさせ方ってというのは説明あるんですけど、具体的にこういった作り方をしてるのか
0:30:38	そういった説明を資料にはつけて欲しいんですけど。
0:30:43	今、説明できたら、
0:30:46	お願いします例えば交付フーリエでこう倍数かけてるんですとか補正はを使ってんですとか、何かあればですね、説明いただけたらと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:57	はい北海道人力ノジリですそうですね実際の観測記録。
0:31:03	から、位相特性は主婦0市磯スペクトルを取り出しますということそれと今ターゲットのスペクトルが、標準応答スペクトルということになりますので、そこに合うような波それを、
0:31:17	初期値的には多分フーリエと標準応答スペクトルを、
0:31:21	フーリエ振幅にしてそこから合わせ込んでいくってということになると思うんですけど。
0:31:26	と移送としてまず、
0:31:28	観測記録の位相を使っていてそれに、結果としてこの応答スペクトルに合うような、
0:31:35	波になるように、今井層を動かしていくっていうんで多少動かしていくというような作業をした結果としてこの適合するなりをつくり出してっていうことになると思います。
0:31:47	すいませんなかなかちょっと口頭でつく伝わりづらいかもしれないですけどそういう作業をしています。
0:31:53	はい規制庁タニです。多分ですねそうですねその作り方っていうのはそんなたくさんあるわけじゃないんだと思うんですけども、やり方っていうのは、何かひょっとして幾つかあるんだと思いますのでその作り方っていうのは、
0:32:06	どうやって作ったのかがわかるようにしていただきたいのと、
0:32:11	あとこれ、
0:32:15	えっとですね、これは観測記録もそうですし、LAN水槽の方もそうなんですけど、
0:32:23	んなんだ。
0:32:25	周期体ごとの音スペクトル比だとか、
0:32:29	うん。
0:32:32	等、ちょっと他のサイトとかでもこういったことは行ってると思うんですけども、
0:32:37	結局、スペクトル比がどんな周期体ごとにどうなってるのかとかそういった結果っていうのは、
0:32:43	今はついてないですよこれ。付けていただくようお願いできますか。
0:32:50	はい北海道電力野尻です。そうですね大戸スペクトル比今最低の数値だけ載せてますんで周期ごとの比は載せます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:58	以上です。
0:33:04	はい規制庁タニですお願いします。
0:33:07	あとですね、35 ページ
0:33:12	観測腔一層用いた模擬地震法のさっ検討の時に、
0:33:18	水平方向は最大加速度が大きいE W方向を代表はとするって書いてんですけどこれ確かに、
0:33:26	最大加速度はE Wが大きいっていうのわかるんですけど、そこで見ると、最大加速度だけで、
0:33:34	いいんです。別にこれ両方やってもいいわけですけども、
0:33:38	ダブルもN - S もですね。
0:33:40	本当に最大加速度値だけを、
0:33:45	見るっていうのが適切なやり方なんだろうかなんて思ってその辺の考えを聞きたいんですけど。
0:33:52	どうでしょうか。
0:33:56	はい北海道電力野尻です今おっしゃられるように最大加速度っていうのは一つの指標であることは間違いないと思って今回はそこでピックアップしてます。
0:34:05	これ、観測記録の応答スペクトルN S方向もE W方向も見比べた上でっていう、基本的には応答スペクトルがそれほど大きな顕著な差異がない中で、どちらかということで選ぶとすれば最大加速度という
0:34:20	規模のキーワードにして今選んで一つ代表にしているということでございます。
0:34:36	規制庁タニですけど、
0:34:42	事実関係は確認できましたけど、ちょっと多分その説明だったら本当にそれでいいんですかとか、いう疑問も引き続き出るかなと思ってまして、
0:34:54	本当にこの、
0:34:56	例えばパッと見ても34 ページ、N S E Wの方向最大加速度値は飯田の方が大きいかもしれないけど何か、
0:35:04	この端数みたいなのはこうなんか、N - Sの方がぐっとこう詰まってるような見え方もしたりとか、もしして、これだけ見ても何か私らこれWが本当にこう、
0:35:17	代表するような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:19	並みなんですかねっていうのはちょっと疑問な点はあってですね、何か他に、
0:35:26	聞いた理由は、だから他に何かいろいろ着目されてるようなところがあるんだったら聞いときたいなということで聞いたんですけど。
0:35:35	今ほどの説明で、
0:35:38	はい。
0:35:40	事実関係としては確認できました。
0:35:44	すいません北海道電力野尻ですけど今、田井さんの言われてる 35 ページの右側の図、左側と右側っていう、絵で見比べられてるってことですかねこれ右側、鉛直方向。
0:35:58	なので、ごめんなさい。戸塚さん、すいません別物で、すいませんタニ 34 ページの、EWSのアップ系ねすいません。はい。武井の話です。
0:36:10	はい。
0:36:35	はい。どんどん節確認行きたいと思いますけど、それで、3、40 ページでは、
0:36:44	らん水槽を用いて作成した模擬地震は当観測位相を用いて作成した模擬地震はで、
0:36:51	解放基盤表面での応答スペクトルを示している。
0:36:56	で、
0:36:59	そのあとは 41 ページで、
0:37:02	あれですよ。
0:37:04	振幅の大きい波。
0:37:10	の継続時間が長い方は L A N 水槽なんで、
0:37:13	ていうような説明してもここで、標準語とスペクトルのを考慮した地震動っていうのは、こっちの L A N 水素を使いますよっていうのに、ここで決めてしまってるんですけども、
0:37:29	ちょっとさ、思ったのが、
0:37:36	この時間。
0:37:38	ここでまず、
0:37:39	何て言うんですかね、40 ページを見てみると、
0:37:44	同程度とは言いつつ、やっぱり周期体ごとにこうで、出っこみ引っ込みっていうのが、両者でありますよね例えば、
0:37:54	種、水平方向の 0.1 秒とかを見ると、観測位相班の方が、ここでオミットする側の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:01	観測位相班の方がちょっと大きい、これはちょっと、ちょっと結構な差があるんじゃないかなっていうふうにも見えるんですけども。
0:38:10	その中で本当に時間だけ、
0:38:15	ここで時間だけ、家継続時間だけに着目してもう一般に選ばなければいけないっていう、この辺の考え方がですね、どうしてもこの時点で代表を
0:38:28	選ぶ。
0:38:29	エラー選んでしまうのかっていうのがちょっと、
0:38:33	考え方を確認させて欲しいんですけど、例えばここは別に二つ残すとか、そういう考えもあるんじゃないかと思うんですけどそ、その辺どう考えてこの
0:38:45	代表さ、一般にする必要があるっていうふうな考えなんでしょうか。
0:38:53	北海道電力の野尻です。
0:38:55	次今おっしゃられたように41ページでいうと、主要動の継続時間っていうような観点が一つあると思ってます。で、そこら辺、一応最後の考え方として42ページにまず、
0:39:08	まずどちらかを選ぶとするならばということで42ページの方に書いて、
0:39:13	で、
0:39:14	まずは、オートスペクトルが同程度だというのはまず事実ですとおっしゃる通りでコミコミというか、どっちが大きいというのはそういう総合的な関係はあると思ってます。
0:39:24	あとは最大加速度を見ても、断水するのが大きいということそれから継続時間っていうのが比較的エネルギー的な観点。
0:39:34	でも整理できるということで、そちらが長いというようなことを、
0:39:38	なのでどちらの方が影響が大きい可能性が高いかって言われるとこの槽水槽の方が、
0:39:47	適してるだろうということで一つ代表選手を選んでいるということでございます。
0:39:53	複数をどこまで選び続けるのかっていうことにはなるんですがこの段階でも影響度としてはトランス移送の方が大きいだろうという指標、
0:40:04	もしくはエントランス観測事実観測位相の方が大きいという、
0:40:09	選ぶという理由が逆がないなということで今こういう整理をしております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:17	はい。お考えありがとうございます確認できました。
0:40:21	あれですかね、もうこれ、この今の材料で、
0:40:27	例えばこれを議論するとしたら、こちらの
0:40:34	L A N水槽を用いた
0:40:38	地震はの方が地震動の方が、影響は大きいと、もうそれがいえるっていうことで考えてるっていうことですねその時間の観点で、
0:40:51	いえるんだと、ゆこう考えがあるっていうことで、
0:40:56	はい、確認できました。
0:40:59	はい北海道電力ノジリですそうですね一般論としてエネルギー☒エネルギースペクトルではないですけどエネルギーという観点で継続時間、
0:41:09	力なんだと思ってますんでそういうことは言えてると。
0:41:13	いうことだと思ってます。以上です。
0:41:31	規制庁谷ですけど、しつこいようですけど、
0:41:35	例えば、40 ページで、この観測位相はの方が、出っ張ってるような周期はあるけれども、そういったものが例えば施設への影響とかそういう観点でいうと、これは、
0:41:49	こういうところがあっても、
0:41:51	影響はなくて、L A N水槽の方で、
0:41:55	そっちの方が影響が大きいんだっていう、そう。そこまで考えられての整理。
0:42:02	で言われてるんですか。
0:42:05	すいません北海道電力の宇津ですそういう観点で整理しているものではございませんあくまでも基準地震動を選定すると、プロセスの中で、どっちを代表にするかということで、
0:42:16	考えております当然施設によって、
0:42:20	とか物によってとか物によってやっぱ変わるところはあるとは思いますが、なのですべてをその施設影響を確認した上での話ということではなくあくまでも基準地震動としての整理ということでございます。以上です。
0:42:36	を、
0:42:37	はい規制庁丹リースはお考えは確認できました。
0:42:47	あとはですねえ。
0:42:54	ちょっと
0:42:56	これ確認なんですけど、確か前回の会合で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:03	等を議論の中で、紀陽地下構造モデルでも計算していますよと。
0:43:10	前回新しい地下構造モデルを使ったんだけど、企業地下構造モデルの検討されてるんですかっていうご質問に対して、今日地下構造モデルでも確認はしてて、ていうのがこういった結果なのかなと思うんですけども、何かその会合のときには、
0:43:27	760Galっていう数字を、
0:43:31	ちょっと聞いたときに、でてきたと思うんですけど。
0:43:35	それって、今回出てきてる数字と、大分値が違うような気がするんですけども、この辺の違っているのをちょっと、どうしてなのかなというぐらいは確認しておきたくて、会合で説明しが違ったのか。
0:43:53	何かこの検討をやる中で、
0:43:57	ちゃんとやってみたら、こういう値になったのかとかその辺ちょっと教えてもらえませんか。
0:44:04	北海道電力の釣りですそうですね今年の1月14日の審査会合のときには、当時の条件で勢の地下構造モデルを使って、
0:44:15	地震動回ご議論地震動評価したら760程度ということ、試算社内試算としては、
0:44:22	ということでお答えしたということだと思ってます今回地下構造モデルを既往のものに戻したということに加えて波を作り直してます。これマグニチュード経営と振幅包絡線のものについて見直したと。
0:44:36	ということで新たに今作ったものでそれを
0:44:41	既往の地下構造モデルを使って解放基盤まで上げた結果が今回693という数字になったということで
0:44:50	地震基盤、
0:44:52	相当面の加速度としてはどっちも600Galで作ってはいるんですがその結果、そのあと上げたときに、
0:44:59	若干その違いが出たと。前回ちょっと社内的な試算だったというところもあって、その精度というところを特に比べるものではないと思って要因分析まではしてないですけど、
0:45:09	前回と今回で条件が変わって作り直した結果ってということだと思ってます。以上です。
0:45:18	はい。規制庁谷です。ここであまり深く確認するつもりもなかったんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:25	やり方は基本的に同じようなやり方でやられてて、だから 760 って言っ てた時の地下構造モデルと今回のやってる地下構造モデルっていうのは 一緒なんですよね。
0:45:39	そのやり方自体は一緒なんだけど模擬地震はの、
0:45:44	作り方で、
0:45:46	かなり値が変わるっていうような説明を今されたんですかそれとも何か この当時の講師さんっていうのが何か趨勢制度とかいうそういう観点で 違うっていう話なんですかちょっと。
0:46:00	その辺事実確認させてください。
0:46:04	はい北海道電力野尻です。そうですねもともと社内試算してる時って多 少何て言うところの精度ってちょっと言い方悪いですけど社内的な検討 という位置付けではやってたのも事実。
0:46:17	ではあります。今回は今日地下構造モデルという点では同じですけど、 しっかり当然審査で使うものであり、
0:46:26	いわゆる将来的に基準地震動になる可能性もある地震動になってますん でしっかり精査したものを出しているところの違いはある、あり ます。
0:46:36	以上です。
0:47:16	規制庁タニですけど、
0:47:20	はい。それは、お考えというか、状況について説明は受けましたけど、
0:47:30	おなじ応答スペクトル。
0:47:34	2 適合するよんか、地震基盤相当。
0:47:40	面で、
0:47:41	地震基盤相当面で、標準応答スペクトルに適合する二つの波っていうの が、
0:47:50	最終的に凹凸な表、解放基盤表面に
0:47:56	上げてきたときに、こんなに数字が変わることもあり得るっていう。
0:48:03	そういう説明にとれるんですけど、すそそういうことでいいんですか。
0:48:12	北海道電力野尻です先ほど申した通り前回の試算っていうのは、多少精 度はやっぱり落ちてる。落ちてるといっては暴れているところ はあるということなんですけどそれを除いたとして、
0:48:25	これぐらいの差が出るかってのはちょっと何とかやってみないとわかん ないところありますが、どちらにしてもどちらも、
0:48:31	いわゆる地震基盤相当面では基準に適合してるとはいえ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:36	先ほどの大戸スペクトル比でも 0.85 以上という縛りの中でやってる。
0:48:42	ものなので多少の上に出る場合下に出る場合っていうのはあるのかなと思っています。一つの指標として最大加速度で前回も 760 という数字の話をしてますがオートスペクトルという観点では多分ほぼほぼ変わらない。
0:48:57	ものなんだろうなと思ってますただ当然前回試算だったものなんで今回のものと特に比較はしてないということでございます。以上です。
0:49:16	はい。規制庁谷です。事実確認としてはこれぐらいにしたいと思うんですけど、とにあれですね資産っていうのは、ここまできっちりと例えば応答スペクトル比、
0:49:28	適合するっていうのをきっちりと
0:49:30	合わせてなかったようなその制度っていう言葉っていうのは、そういったこともあったりして、あくまで試算程度にやってたようなものだから、
0:49:40	あまりだからその数値は、北海道電力としてはこうなんか、
0:49:47	精緻なものではあったわけじゃないけど会合で聞かれたから言った程度なんだと、そう、そういうことで理解しましたが、そそういうことでいいですか。
0:49:59	北海道電力野尻ですおっしゃる通り今、湯猪狩さんおっしゃられた通りその、がっちりした制度で、
0:50:07	ないものでちょっとお答えしてしまったので聞かれてしまったんで答えたというところでありますけどそれ自体が今回変わったものでありますので今回の制度の方が、
0:50:17	高いという整理になると思ってます。以上です。
0:50:30	はい規制庁タニです。はい、わかりました。
0:50:44	規制庁佐口ですけども。
0:50:46	ちょっとごめんなさい幾つか確認させてください。何かいいとか悪いとかいうわけじゃなくて考え方とかですね、そういうところだけ確認をさしてください。
0:50:55	まず 2 ページなんですけども、
0:51:00	前回会合のコメントのナンバー 2 で、
0:51:05	最後のところに、
0:51:07	少なくとも M7.0 以上と
0:51:10	をとって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:11	多分コメントを。
0:51:13	その通り、多分、
0:51:14	分かれてると思うんですけど。
0:51:16	それに対して、
0:51:18	最低っていうんすか
0:51:21	7.0。
0:51:22	西田。
0:51:24	理由というのがですね。
0:51:26	根拠っていうのが、多分 12 ページに、
0:51:29	書かれている、この下の*な。
0:51:32	と思うんですけど。
0:51:33	この*前、ごめんなさい、一度確認させていただいたかもしれないんですけどこの*二つ。
0:51:42	要は、M7.0、X e q 10 キロというふうに設定をされた根拠って、
0:51:49	何ですかね。
0:52:00	はい。北海道電力の佐伯です。衛藤。
0:52:04	M7.0 X e q 10 キロというふうに設定した根拠でございますけれども、まず地震規模につきましては、全国共通に考慮すべき地震の規模Mw6.5程度未満。
0:52:18	いうものも参考に、竹村さんの式それから金森の式から導き出される関係式からM6.9約6.9と。
0:52:29	いうふうに考えられるというところの、なんですけれども、全国共通に考慮すべき地震の規模、Mw6.5程度未満ということで幅を持って設定されていると。
0:52:41	いうことを踏まえまして、主要動の継続時間を適切に設定すると、長くということになるかと思っておりますけれども設定する観点から、地震規模をM7.0、約6.9というところから7.0と、
0:52:55	いうふうに設定しているというものでございます。
0:52:59	等価震源距離につきましては震源近傍を想定しまして10キロというふうに設定しているものでございます。以上です。
0:53:09	はい。規制庁佐口ですけども、ということは、
0:53:14	Mw6.5程度未満というのはこれはガイドなんですかね。
0:53:19	要は出所が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:21	確認したかっただけなんです。何かを参考にされてるのか、それとも御社の考えでこう設定されている。
0:53:30	先ほどその震源近傍 10 キロって言いましたけど、震源近傍の何か定義みたいなのか、あるんですかねっていう。
0:53:37	だからその辺りの何か、
0:53:40	ところが、例えば度なんかの文献を参考にしたとか、
0:53:45	そういうのがあるんだっただけだと思ったんですけど、なのでこれはあくまでも御社の考えのもと設定されたっていうことでいいんですかね。
0:53:56	北海道電力野尻ですすいませんまずマグニチュードに関してMw6.5 程度、
0:54:02	に関しては当然ガイドでの要求事項の数字を、
0:54:07	まず考慮しているというものになりますそれともう一つ投下し、等価震源距離ですね、の震源近傍に関しては検討チームですねこの標準応答スペクトルの検討チームの報告書。
0:54:18	の中で震源近傍と、
0:54:20	そして定義の中では半径 10 キロの範囲というような記載があったということでそこを、に基づいて 10 キロ等価震源 90 キロという設定をしているものになります。以上です。
0:54:33	はい。規制庁佐口です。わかりました。なので御社独自じゃなくて何らかの文献なりを、を参照してこういう辺りを設定しているというご説明だったと思う。
0:54:44	で、
0:54:47	ちょっと先ほど参事の方からもあったんですけど、今回の観測位相を用いた模擬地震検討のところで、
0:54:56	収集、
0:54:58	上限、これも同じなんですけど、16 ページにあるような、この収集条件っていうのは、どういう形で、
0:55:07	呈されたのかっていうのを、何か、もし何か根拠があって、
0:55:11	こうこうこうこうだから、こういう条件、
0:55:14	設定しましたとか、
0:55:15	そういうのをちょっと教えてください。
0:55:23	プロブレム刷りですそうですね 16 ページで書いてる四つほど条件として入れているものでまず半径 30 キロと発電所から 3 件 30 キロというのはある程度地質構造、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:34	的な観点で共通性があり得る近い距離ということで 30 キロを設定した というものですそれからマグニチュードの規模に関してはこちら検討チ ームで収集している地震。
0:55:48	記録ですねこれも特定せずの検討チームの会場ではN5.0。
0:55:53	をベースに今ちょっとMwかNGかというのはあるんですけど、そこを 一つの条件としたということ、それから震源近傍の半径 30 キロとい うのはこれ
0:56:04	先ほど言ったように 10 キロってというような本当は狭い範囲だと思うん ですが、観測記録の数というのが明らかに限られるのは目に見えてた ということで幅を広げた 30 キロにしているというこれは、我々として決 めたもの。
0:56:16	それから震源深さ 30 キロも一般的には 20 か 30 かっていう 20 でもいい ところだと思うんですが、
0:56:23	これは当社として 30 に広げてるってというようなことで設定しておりま す。なのでちょっと物によって考え方を決めながらやってるという、幅 広くできるだけ広いというようなことで設定してます。以上です。
0:56:38	はい。規制庁佐口です。考え方は確認できました。で、今度実際の観測 記録どうかっていうのが、
0:56:47	30
0:56:49	ページ以降ですかね。
0:56:51	あって、あくまでもこれは継続時間っていう観点で、
0:56:55	見られているのかなと思ったんですけど、当然ながら、
0:57:00	マグニチュードっていうか、地震規模が変わったりあとその観測条件に よって、観測のいわゆるSN比と
0:57:07	そういうのあると思う
0:57:08	けど、
0:57:11	ちょっと、
0:57:11	34 ページで、
0:57:14	今回胆振地方の地震の、
0:57:16	この喜茂別の観測記録
0:57:19	用います。
0:57:21	ということがごめんなさい。34 ページとか 35 ページですよ。それはあ くまでも、
0:57:27	地震規模が大きくなって、それから地震基盤相当面の伊佐速度と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:33	の対応を考慮した。
0:57:36	ということなんですけれども、
0:57:39	一方で、この 34 ページの、
0:57:42	一番上ですかね。
0:57:44	下の箱書きの収集したは、八つの観測記録の加速度時刻歴は形は、
0:57:51	パルスはやや振幅の大きい後続はなど特徴的な形状のは形が見られない。
0:57:58	てされてるんですけど、
0:58:01	34 ページの、
0:58:02	喜茂別のところに、UDです。
0:58:05	これって、
0:58:07	特徴的な、要は後続は、
0:58:10	深部の大きい後続には当たらないのかどうかっていうのをちょっと確認をさせていただきたいんですけど。
0:58:19	北海道電力野尻です今回新保黒木構造化というワードで書いてますがイメージ、イメージっていうんすかね見方としては主要動、
0:58:29	に相当する振幅レベルっていうイメージをしてますので、これでいうと、後続の方でも 1 振幅が 1 になるようなものがあつたらそれは大きいだろうという判断をしようと思ってたんですがこれでいうと 0.5 まででもいいかね半分以下ぐらいだったのでもあ、
0:58:46	これぐらいの記録はあるなということで特に特徴的な形という整理にはしておりません。以上です。
0:58:55	はい。
0:58:57	規制庁サグチ
0:58:58	で、同じ観点でちょっと申し上げますけれども、じゃあ今度その S 波速度とかっていう地下構造の観点でいくとその喜茂別っていうのが、
0:59:08	71 ページですよ、K I c ネットで言うところの
0:59:12	確かに、
0:59:16	その下、
0:59:17	地下、地下、地下とか地中、地中観測。
0:59:22	.
0:59:23	については、
0:59:24	確かに S 波速度は 1400 幾つってなってますけど、
0:59:28	その上ってすごいコントラストがあつて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:33	300 とか、
0:59:35	なってますよね。
0:59:37	これって、
0:59:40	御社の
0:59:41	要はその泊のサイトでもこんな感じでしたっけっていうのと、
0:59:45	いや、思ったのは、
0:59:48	むしろですね。
0:59:50	マグニチュードは小さいかもしれないんですけど、
0:59:53	継続。
0:59:54	時間という観点で見れば、例えば 33 ページの左にある、M3.5 ですよ ね。
1:00:00	この共和の記録って、
1:00:03	全然、端の方にもかからないのか。
1:00:06	それはその後ろの、
1:00:08	今日はという観測点を見ると、
1:00:10	前でも数値的にもありましたけどね。
1:00:13	これ観測。
1:00:14	されてる、地中観測点で 1800 ぐらい確か V s があったんじゃない
1:00:21	67 ページですか。
1:00:24	で、そんなに、
1:00:26	すごく
1:00:28	コントラストの強い、
1:00:30	要はやわらかい地盤が乗っている。
1:00:33	サイトでもなくって、
1:00:35	そうすると、
1:00:38	その辺り、ちょっとその、あくまでも何か比較すると、結局のところ、 何かマグニチュードが大きく、
1:00:48	当然ながらもうこれ欠かーって比べるものんまでもなくって、
1:00:54	主要動と後続度との、何ていうんすかね。
1:00:59	振幅差をみれば、継続時間短いですよ。喜茂別なんてもう、
1:01:05	それに対して何か結果で 41 ページで、主要動が、
1:01:11	観測。
1:01:12	理想はもう短いのでって言って、それって比べる。
1:01:16	でもなくてその前でわかってしまうようなことだと思うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:20	むしろ、なぜじゃあマグニチュードはちょっと小さいかもしれないんですけど、
1:01:25	この 33 ページの、今日観測記録とかって、
1:01:30	使う、使う、使わない、もしくは使えないっていう、
1:01:34	判断をした理由を教えてください。
1:01:40	と北海道電力野末です。
1:01:42	今日はですね今日はおっしゃる通り V s はまず最泊発電所に近いようなところもあるしここでいい記録がとれていい記録って振幅の大きい記録がとれてればいいなど。
1:01:55	思ったんですけど現実的には取れてなかったと。今佐口さんおっしゃられてる記録、24 ページにも当記録が載っていると。
1:02:05	いうことになりますちょっと S M E をがっちり見てるわけではないんですけどこれ振幅としては 0.5 割の記録、
1:02:12	になっているというところがあってマグニチュード 3.5 で 0.5 倍の記録っていうところなの、これを逆に用いているところで、
1:02:25	大変深いっていうことに多分なるだろうなということだと思ってますやはり基準としては、ターゲットとしているものの規模感としてはマグニチュード 5 とか、4 なり 5 以上という、
1:02:37	僕は一つかなということでその中で近いものだったり非常に地盤のいいものっていうのを探していくと今、
1:02:43	今の規模ですかなというふうにして選定しているというところですよやはりちょっとこの 73.5 とかの敷地に近いところの 3.82. 5 っていう記録に関しては、
1:02:55	どれも 1 割になるが大きくて特に今の協和だと 0.5 あるっていう意味ではちょっと使うにはならないなっていうことで判断して、マグニチュードの大きいものを使ってるものになります。以上です。
1:03:09	はい。規制庁佐口です。なので基本的に観測記録の
1:03:14	規模と言いながらも、S N 比だったりそういうものをやっぱり一番重視されてると、そういうご説明でいいんですよ。
1:03:23	そうですねすみません私がそう言えばいいところをそういう整理をしていただいてあれですがおっしゃる通り当然ながら S N 比っていうところも見てるのは
1:03:33	その通りだと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:37	はい佐口です。すみませんあと細かいところちょっと教えてくださいとか、
1:03:41	19 ページとかそれ以降にもあるんですけど、いろいろこう、
1:03:46	震源というか、の情報があって、これ震源深さが全部これ、
1:03:50	すごく、まあ 30 キロ以内って深さ 30 キロ以内とかって、何かおっしゃってましたけど、全体的にすごく浅いんですけど、これって、
1:04:00	何の、何の上情報なんですかね。
1:04:04	そのキックネットとかで観測されたところに示されている情報なのか、それとも何か気象気象庁によるものなのかとか、
1:04:12	その辺ちょっと教えてください。
1:04:14	はい。すみません。どっちでしたねとは、
1:04:20	すごい。
1:04:22	そうですね大内ですけども、例えば 10、19 ページのこの震源深津は例えば 1 キロとか 2 キロとかあるんですけど、
1:04:29	これって、
1:04:31	どういうどっからの情報なのかっていうのを教えていただいたかったんですけどね。基本的象徴だと思ってますちょっと待ってくださいすみません。
1:04:43	全然センター
1:04:47	そう。
1:04:48	どっちかなあと。
1:04:58	もう 1 枚、
1:05:04	ちょっとどの
1:05:06	それちょっと確認させてください馬路抜きオクデラ気象庁なんですけど、ちょっと確認をします。
1:05:13	ただいづれにしても多分、これまたはっていうとあれですけどすごく浅いものが、
1:05:20	ピックアップされたっていうことで特に
1:05:24	北海道西部が全部みんなそういうことではないっていうことなんだと思うんですけどたまたま 1 キロ 2 キロとか数キロ、特に規模がちっちゃいのが選ばれてピックアップされてるっていうそういうものしか多分拾えないんだろうなということだと思ってるんですがちょっと
1:05:37	緒元については、今一度確認。
1:05:40	しておきますすみません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:43	はい。規制庁佐口ですわかりました。そんなに私も特にすごくこだわるわけではないんですけど、やっぱりちょっと、かなり
1:05:51	1キロとか言われるとあれ、地震発生層何キロだっけとか、そういう当然、
1:05:57	ところがあるので、
1:05:58	そこはちょっと確認をお願いします。はい。はい。北海道電力の吉井ですすみません商取だと思うんですけど当然これぐらいの
1:06:07	規模のもので、浅いものっていうのは起こり得るんだろうなと思っておりますんでちょっといずれにしてもちょっと証券のところに関しては、ちょっと整理させていただきます。
1:06:19	はい。
1:06:20	規制庁佐口ですけど、最後すいません。ほんと細かいことかもしれないんですけど、当然、今までこの前、前、前回出させていただいて62ページの、
1:06:30	ところの
1:06:32	インスイ定数4%以上が獲られているっていう、書かれてますけど、具体的な数字って、
1:06:38	でもこれって、
1:06:41	どこで見るかによって変わると思うんですよね。
1:06:45	だから、例えば主周周波数何Hzとか周期何秒で、
1:06:50	4%以上っていうのはわかるんですけど、
1:06:52	これが、じゃあ、1秒のところで見たらとか、
1:06:56	むしろ、
1:06:57	問題になるというのか。
1:06:59	0.02秒のところで見たらって、これ数字が変わると思うんですけど。
1:07:05	一方で、
1:07:07	今までと柿木沖を、
1:07:10	のモデル、
1:07:12	だと。
1:07:13	もうこれ一律なので、確かにこの
1:07:16	0.5%っていえるかもしれないんですけど、この4%以上って、
1:07:22	いいんですかねという要はその見るところによって変わってくる数字じゃないんですか。
1:07:29	ていう、ちょっとそこを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:31	確認させてください。
1:07:33	はい東北電力野末です 62 ページでいうと水平方向ですね左側の水平方向。
1:07:41	の図で今これ 15 Hz まで解析対象として評価していてそこから周波数で低い側、
1:07:50	に関して言えば少なくとも、これ今例えば 0.01 なんて 0.04 ですね三、四っていうところでは、すべての周波数体で上にいるってことなので 4%以上という整理をしております。これより右側講師の須賀に関しては
1:08:06	地盤同定としての結果を持ち合わせてないので持ってる範囲としてはそういう 4%以上っていうことで整理をしてるものです。以上です。
1:08:14	はい。昨日当然そういうことは理解していますけど、何かこれを見ちゃうと、もう必ずどの周波数体も含めて、4%以上っていうふうに、
1:08:26	見えちゃうのであくまでもこれは同定結果として、獲られている件数定数としてはっていうことで、理解は当然してますので、
1:08:37	はい。そこですかあまり。
1:08:41	書きすぎるなというイメージで例えば、解析した結果の範囲、15 Hz、
1:08:47	までにおいてとかっていうことの、
1:08:51	ちゃんと条件というか仕切りをつけるということかなと思いますちょっとこれは前回の資料もそういうような言い方をしてみましたのでそこら辺はちょっと、
1:08:59	丁寧に書かせていただきます。はい。以上です。
1:09:04	はい。
1:09:05	とりあえず私から以上です。
1:09:12	規制庁の谷です。ちょっと、また、話戻るかもしれないですけどさっきのやっぱり
1:09:17	最終的に、
1:09:19	何て言うんですかねえ。
1:09:21	観測位相もついた。
1:09:24	模擬地震はの検討っていうのを、時間だけで何かオミットするっていうのが後で、ある。
1:09:32	ような資料の構成なんですけど、やっぱりそうなってくると、先ほど佐口も言いましたけれども、
1:09:39	本当にそれを睨んだ観測記録を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:42	選ぶ必要ないんですかっていう話の中に、当然前回は北海道電力は
1:09:49	最初に確認しましたがけど長野県北部MW6.3だとかそういったことも、 こういったことを観測位相を用いた、その模擬地震を作る分にはこういったのも使うっていうのも、案としてはあったわけですね。
1:10:03	なのでその辺をですね、こと当然地震規模が大きくなったら、
1:10:10	主要動の時間も長くなるとかそそんな、
1:10:14	感覚でいうと、しっかりとですね前回の、
1:10:18	考えが変わった理由だとか、或いは今回の選定の
1:10:26	S N比の話もありましたけれども、理由っていうのはちゃんとしっかりとこう考えてることを書いて欲しいなっていうのを、
1:10:33	思いを持っています。
1:10:39	はい。北海道電力野尻です。はいそうしますと先ほどいろいろと議論させていただいた話、当然文字にできてなかったところが多々ありますんでそこら辺を書くようにしたいと。
1:10:52	思っておりますただ最初の方の話で出たんですけどもともと使ってた伊藤伊賀を使わなくしていったということに関してはやはり
1:11:05	単純に規模だけ規模というよりはもともとの観測点間伝播なり震源伝播っていう観点でいうとよりサイトに近い方がいいっていうところがスタートだというのはちょっと1月14日の会合で改めて、
1:11:18	認識したということでそこを切り換えたっていうところになりますんでそこはしっかり書きたいと思います。ありがとうございます。以上です。
1:11:27	はいお願いします。
1:11:30	あとちょっとこれ確認なんですけど、
1:11:34	別記とかに書かれている、この各種不確かさを考慮して、検討しなさいということ。
1:11:41	あれ、磯さん。
1:11:49	北海道電力今聞こえてますか。
1:11:56	北海道電力聞こえてますか。
1:12:15	規制庁タニすみませんでしょ。こっちこっちの機材が。
1:12:19	一瞬不調になりました。
1:12:22	今聞こえてますか。
1:12:24	はい北海道電力聞こえております。
1:12:28	はい。谷ですけど。続いて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:32	別記とかに書かれている、
1:12:34	この評価にあたっては各種不確かさを考慮してってところがあるんですけども、今北海道電力としてはその辺はどこで見ていると。
1:12:44	というような考えなんです確認させてください。
1:12:54	北海道電力野尻です。そうですねまず、不確かさ、そもそももう、
1:13:01	標準応答スペクトルを考慮すること自体もある程度の不確かさかなというのがまず一つではあるんですがそれに加えてですね先ほどから議論させていただいてます位相特性として複数検討した。
1:13:15	中で影響の大きいもの等を考慮するですとかその観測事実を探す際にも言え、かなり複数地点という肩たたきにわたる地点の方を探させていただいてますので、
1:13:27	そういうところの不確かさが考慮できているのかなとちょっと後この地下構造モデルに関して不確かさと言っていいのかわかりませんがそういう意味でもきちんとレベルとして最終的に不確かさ、
1:13:39	には織り込まれているのかなというあたりだと思っております。
1:13:43	以上です。
1:13:48	はい規制庁タニサエキ考えを確認しました。
1:14:15	ちょっと規制庁タニですけどさっきの不確かさの話で標準応答スペクトル自体にはですね不確かさを考慮して、何か設定してるとかそういう、
1:14:25	ふうな明示的な考えはないので、今質問から聞いた。
1:14:31	中では
1:14:33	そう。
1:14:36	違う位相を用いていたり、
1:14:38	地下構造モデルも、一応はこれは保守、保守的な、
1:14:44	ものにしてるっていう説明ですかね。
1:14:47	そういったことかと思しますので、やはり考えは確認できました。
1:15:40	あ、
1:15:41	規制庁タニですけど、今日リモートで参加しているのがニシキさんと田嶋さんなんですけど、
1:15:48	まず田嶋さん、何か確認事項とかありますか。
1:15:58	清町の真島です。
1:16:00	私からは、そうですね常に、
1:16:04	規制庁の谷井さんと佐口さんからの質問に含まれていたので事実確認は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:12	はい。できました。私の方でも、やはり最終的に北海道西部という範囲に、
1:16:19	限定している理由というのですとか、あと観測記録の位相というのが最終的に採用になっている部分等が、
1:16:30	ちょっと気になってはありました。それに関しては、すでに
1:16:35	今の考え方というのは、
1:16:38	そうですね。
1:16:39	説明がありましたのでその部分のお考えは、はい。把握できましたので、
1:16:46	はい。私から追加の確認はございません。
1:16:52	はい、ありがとうございました。規制庁谷ですけど
1:16:55	ニシキさんは大丈夫ですか。
1:16:58	規制庁ニシキです。はい。私の方は特にございません。
1:17:06	はい。規制庁谷です。
1:17:09	あとはですねこの地震動評価についての事実確認は、一旦これで
1:17:17	し終わって、
1:17:20	ちょっとですね、今の審査の全体のスケジュール感といいますかそういったことを聞きたいなと思ってんですけど、まずですね。
1:17:30	次の会合が案件が何になるかっていうのは、まだはっきりはしていないんですけど、
1:17:36	次の会合ではハザード側の審査スケジュールっていうのを、改めてその違いがあるのかないのかっていうのをですね、説明していただきたいくて、そういった資料も、準備して欲しい。
1:17:50	というところですよ。でも私が
1:17:53	は、聞いている限りというかも、実際進んでる限りでも火山の方は、予定よりも、大分ちょっと遅れ気味になってきているとか、そういったこともありますので、
1:18:05	工程の説明っていうのは必要かなと思ってんですけど、今の時点で何か工程の話とか何かあればですね聞きますけど、
1:18:15	何かありますか。
1:18:18	はい。北海道電力の松村ですけども。
1:18:22	藤、安里側の項目の、
1:18:26	今後の作業スケジュール等々について、ご説明させていただきたいと思えます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:32	まず今ほど谷さんからもありましたけども、火山影響評価、
1:18:39	これにつきましては、立地評価に関わる資料の提出を4月上旬としておりましたけれども、現状では6月上旬頃というなる見込みと考えてございます。
1:18:53	これにつきましては、
1:18:55	3月31日の審査会合におきまして、敷地周辺における火砕流の痕跡の有無、これを確認することってというのが立地評価においても、
1:19:07	重要であるというようなコメントもいただいております。これに対して今、調査分析等々を行ってございますのでこれに要する時間を要しまして、
1:19:19	6月上旬頃というふうに考えているところでございます。
1:19:25	それから、基準津波につきましては、4月11日の日にヒアリングを実施していただきまして、その修正作業をがですね、
1:19:38	今のところ、連休明けの5月の第2週というんでしょうかね、そこで提出させていただきたいというふうに考えているところでございます。
1:19:49	ちょっとこちらの方が介護等との兼ね合いでどうなるかというのはちょっと今のところまだわからないところもございますけれども、11日のヒアリングにおきまして、
1:20:00	断層パターン1を西へ移動させた場合の理由の整理とか、パルス判定の説明のところとか、この辺りですね、検討に、
1:20:15	今、やっているところでございまして、連休明けの週に提出させていただきたいというところでございます。
1:20:24	以上です。
1:20:27	はい。規制庁谷です口頭でのですね今のスケジュール感ってというのはですね確認できましたけど、1度資料にさせていただいて、次回会合でお願いいたしますということと、
1:20:39	ちょっと1点火山のところが大幅に時間軸がこうずれてるの気がなったんですけど、
1:20:46	これって、
1:20:49	私の考えでは、何か調査をした時にそれが火砕流堆積物ではないとかそういった判断って、すでに調査のときにできているはずのことなんだと思うんですけども。
1:21:03	それをできていなかったから時間かかっているのかそれともできているんだけど何かこう統一的な見方なんていうんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:12	普通ならばそれってもう整理できてるべきことなんじゃないのかなって いうのを考えると、なぜそれを改めて整理するのにこれぐらい時間かか ってるのかっていうのちょっと、
1:21:25	教えてもらえませんか。
1:21:33	北海道電力様でございます。
1:21:36	31日、3月31日の会合で資料には記載がありませんでしたけど1評価 の方には記載がなかったんですけどその場で、
1:21:49	内藤管理官の方から、立地評価で考慮しなきゃならない点というこ とで、ちょっとキーワードとして挙がってたのが火砕流ということと、
1:22:02	それから、
1:22:05	ボーリング、我々がお出ししている積丹西岸のボーリング柱状図とかそ れからコア写真を見て、そういうところがあるんじゃないかというこ とが気になるというような、
1:22:18	お話がご指摘がありましたんで、
1:22:22	我々もですね当然
1:22:25	この観察とかやってる中では、
1:22:28	その火災理由みたいなものはないということで、
1:22:32	この観察とかやっていますけれども、ただ、そういうご指摘を具体的に 受けている以上、その、何が例えば、確かに柱状記載の中でですね、軽 石バジルみたいな記載もあったりするので、
1:22:47	そういうところを気にされているんだろうとっております。
1:22:52	それでそこを、
1:22:54	いやいや違いますって言うだけではですね説明になりませんので、
1:22:59	今、そういう、もう一度、コアと柱状図を我々なりに見直して、どこが そういう議論になるかっていうのを整理した上で、
1:23:12	必要な分析、
1:23:14	今あるコアからですね必要な分析をかけてちゃんと客観的なデータで、
1:23:21	そういうものは、
1:23:23	ないと思っておりますんで今こう言いますがそういうものはありませんと いうことを、
1:23:27	ご説明しなきゃならんというふうに思っていて、今そこの整理にちょっ と時間が必要だと。
1:23:33	ということになっております中途半端にご説明してもですね結局、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:38	議論になるだけで結論が出ないと思いますんでそこはきちっと客観的なデータも交えてですね、
1:23:46	体系的にご説明を差し上げたいと思って今、作業しているところです。以上です。
1:23:56	規制庁丹下です。あれですねだから調査の時点で判断は、火砕流だとかそういったものではないっていう判断はしてただけけれども、統一的に見た時に物証だとかそういったものは、
1:24:08	しっかりと全体的にそろってるわけじゃないので、改めてそういったこう分析を今されてる途中なんだと、いうことを、
1:24:18	の説明かと思いましたがそういうことですね。
1:24:24	北海道電力藪です。そういうことでございます当時着たん西岸を調査した目的が、
1:24:31	いわゆるM I S5eの段丘面がどこの高さにあってそれが、
1:24:37	北に向かって隆起してるかしてないかとかってそういうことを整理するためにボーリング調査をやっていたので、
1:24:45	着目してたのが洞爺の層準はどこかっていうのを着目してちょっと調査をやっていたというのがあるので、ちょっとそれだけでは不十分だと、と思っておりますので、
1:24:57	新たに今、
1:24:58	いわゆる火砕流なりのそういう堆積物が、
1:25:02	あるのかないのかっていう観点で整理をして分析も、追加しているという状況でございます。以上です。
1:26:07	規制庁の谷です。先ほど説明ありました内容も全部も含めてですね、次回会合でですね、今どんな状況なのかっていうのが、しっかりとわかるようにですね。
1:26:17	説明資料も作っていききたい、いただきたいし説明もしていただきたいということで、よろしく願いいたします。
1:26:26	はい。承知いたしました次回 31、31 日にですねご提示した、
1:26:33	2-2 とか 2-3 とかいう資料を修正してですね、のをご提示するというような形になるかと思えます。
1:26:43	提示、
1:26:44	提示にあたってはちょっと
1:26:46	プラントが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:48	方にもですね、ちょっと確認というかですね、しなきゃならない部分もありますちょっと社内で全体を整理した上でですねご提示させていただきたいと思います以上です。
1:27:04	規制庁谷ですけど。
1:27:07	そのハザード側も含めて説明したいって言うんだったらそれでいいですけど我々の地震津波の今の進捗状況をちゃんと把握するっていう意味では、ハザード側だけでも、
1:27:18	まずはいいのかなっていうのも思っていますので、その辺整理していただいて、
1:27:24	は、もちろんプラントがもう全部含めて説明したいんだっていうんだったらそれでもいいのかなと思いますので、
1:27:32	どちらでもちょっとよく考えていただけたらと思います。
1:27:36	説明のハザードが説明になるかと思えますけどちょっと工程としてはちょっと全体整合を見て、修正なりをしなきゃならないと思えますので、はい。
1:27:45	そこは社内で検討させていただきます。
1:28:24	はい。
1:28:27	きちっとタニですけど、
1:28:29	ちょっと今後の審査のスケジュールみたいな話もちらっとさしていただきたくて、これできたらこのヒアリング臨む前は、連休明け、最短で13日に会合を
1:28:44	かけれたらなっていうことで、調整中です。
1:28:49	それで、今いろいろ資料も追加もされるっていうこともあって例えば、
1:28:57	今週、
1:29:01	今週中に、
1:29:05	使用。
1:29:08	つくれるかつくれないかとかで、ちょっとその予定を、
1:29:12	考えなきゃいけないかなと思って場合にはですねちょっと説明もちょっと聞かなきゃいけないのかなっていうのも思ってまして。
1:29:21	今週中に何か資料をこれ、先ほど入れ込みたいっていうような内容は、
1:29:26	入れたのを、
1:29:27	整理できそうですか。
1:29:39	北海道電力野尻です。ちなみにちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:43	いろいろとお話させていただいてまゆ言ってすぐ入れるものもあればちょっと清我々の考え方をしっかり整理した上で入れなきゃなんないところもあるなと思っていてちょっと、
1:29:53	先週はさすがにちょっと厳しいんじゃないかなと。
1:29:57	思っておりますちょっと社内的な確認も含めてですけどちょっと厳しいと思うんですがちょっとどれぐらい逆に猶予があるのかっていうところんなるんですが、
1:30:11	規制庁谷です。ちょっとその辺の話ロジ的な話なので、
1:30:18	別途検討していただいて最短でいつできるのかっていうのをですね、確認して、連絡いただくっていうことでお願いできませんか。この週末は無理だけど月曜日の
1:30:31	朝一にはできるとかそんなレベルじゃないってことなんですか。
1:30:35	すいませんちょっとそうですね今いただいたコメントを数はあったなと思っていますのでちょっと整理はしてまたご連絡はさせていただきたいと思いますそんなにたくさん当然かける気はないですけどちょっと整理させてください。
1:30:51	はい規制庁タニじゃ、その辺、
1:30:56	決まったらじゃないですけど考えがまとまったら連絡いただけるということでもよろしく願いいたします。
1:31:04	すいません北海道電力野尻ですが一つ確認させていただきたく、先ほど言われた工程表の関係はもうこれ、この今の地震動の日の資料の直しとは別。
1:31:18	思っていていいんですかね。
1:31:21	規制庁谷ですけど、会合にかける前に1回聞かなきゃいけないかなと思っていますけど見ればわかるというようなものであれば、
1:31:31	そんなにをしっかりと聞く必要はないかなとも思いますけど。
1:31:37	その辺ちょっとロジ的な話なので、
1:31:40	それもどれぐらい時間かかるかっていうのも含めて、
1:31:44	伝えていただけたらと思います。
1:31:47	はい北海道電力野尻です。わかりました。
1:32:07	うん。
1:32:09	規制庁谷です。
1:32:11	こちらからの確認は以上にしたいと思いますが北海道電力からは何かありますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:26	すいません北海道電力野尻です。見て一つ、先ほど佐口さんからご質問、地震の諸元について気象庁でいいです。それが一つそれともう一つですね
1:32:38	今日の議論になって観測位相の扱いのところについて先日3月31日の審査会合の中で、
1:32:47	当間規制庁さんの方から示していただいている論点っていうところの記載で、敷地及び敷地周辺の観測記録の中で特異な位相特徴が認められる場合は実川津久井さんが用いた波はを用いて作成を行う。
1:33:03	記載があって、取得の特徴特異なものがあればそれを使うは使うとか作るっていうふうには我々認識していたところで今回その整備の中の善し悪しはちょっとあるんですが我々の整理としては、
1:33:18	特にないそう特徴がないという、
1:33:22	今回資料としてお出ししたので観測位相、
1:33:26	扱わない、乱數位相で代表させるということで整理をしていたんですが、そこら辺の考え方っていうのが何ていうんでしょうね
1:33:35	或いはちょっと確認させていただきたいんですが、
1:33:41	規制庁単位です。観測位相を用いた、僕自身はの検討っていうのはやられるっていうのが前提としてはあったんですけど、
1:33:51	当然そういった特異な記録があればそれをちゃんと反映し、してくださいねっていう意味かと思ってますけどそ、そうじゃなくて、全然違うふうにとってるってことですか。
1:34:05	そういう意味で敷地周辺の今回の記録の中に特異なものはまずなかったということ、一つ言えたと思ってますそれともう一つは
1:34:16	そうは言っても観測位相を使ってエリアを作ってみた上での、先ほど言ったような応答スペクトルの大小はありますけど、継続時間だったり最大加速度だったりっていう観点での、
1:34:29	ユニバンス磯の方が継続時間が長いとかっていう意味では、特に
1:34:34	区長的っていうんですかね使わなければならないケースに当てはまらないという整理をしていたんですがあと先ほどのやりとりの中だとそうでもない、いうふうにも取れたんでちょっと確認をさせていただいたんですが、
1:36:03	ちょっとそこを
1:36:08	もその言葉じりにこだわるのであればですね、
1:36:13	あれですかね、特異な観測位相は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:17	あるかないかとかそこをしっかりと論点に、
1:36:21	して話をしたいとか、そんなことを、
1:36:26	を、
1:36:29	言われてる校区観測記録の位相っていうのは、
1:36:32	もう用い用いて検討するのかなっていう前回の会合でもそうでしたし、 そういう前提は我々にはあったつもりなんですけれども、
1:36:45	あ、すいません北海道電力野末です用いて検討するということは当然 我々もしなければならぬもともとガイドの記載もそういうことだと思 ってますんで複数率を検討するっていうことは、
1:36:56	当然やるとただその検討した結果として最後、それをしこの標準応答ス ペクトルを考慮した地震動として採用するしないっていうところ。
1:37:05	は代表選手を選べるのかなっていうことがもともとこの論点としても書 かれたことかとは思っていたんですよね。
1:37:20	規制庁の名倉です。
1:37:22	特異な位相特性か否かと。
1:37:26	いうところについて、
1:37:28	下、解放基盤表面の地震応答スペクトルとして評価した結果ではあるん ですけれども、
1:37:36	今まで見ている他のサイトと比べても有意に暴れてしまっているので、 この扱いはどうしようかって今、私たちも迷ってる
1:37:55	はい。
1:37:59	ですからちょっと
1:38:02	この 40 ページの結果ですかね。
1:38:06	口頭スペクトルの比較を L A N 水槽と観測位相で比較をしているんです が、
1:38:12	この結果が暴れていることに対して、
1:38:17	本当にその観測位相はが、
1:38:21	特異なものがないと。
1:38:23	これはおそらくその増幅特性によるものかもしれないんですけども、
1:38:29	増幅特性に対して、観測位相特性も影響しているのか相乗的に、
1:38:37	ここら辺がちょっとどう解釈したらいいのかな。
1:38:42	特定する方と合わせて、考えたときに、
1:38:47	これ、どう解釈したらいいかっていう、ちょっとここら辺が少しわから ないんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:54	そういう意味で、
1:38:57	ここでL A N水槽は、
1:39:00	を採用することの、
1:39:02	理由というか妥当性ということに対して、
1:39:07	これ位相特性だけではないと思うんですけど、
1:39:11	これどうするのかっていう扱いをちょっと検討を、
1:39:15	しないといけないのかなというふうにちょっと思ってます。
1:39:20	ちょっと趣旨として理解していただきましたでしょう。
1:39:25	はい北海道電力野尻です。はい今おっしゃられたところは理解できましたんでまずは我々として今日いただいたコメントを踏まえて我々の考えをもう1回整理した。
1:39:35	もので、ご説明というか資料の方を出させていただきたいと思いますありがとうございます。以上です。
1:39:45	はい規制庁タニです。
1:39:48	以上ですかね特にもうほかなければ、これでヒアリング終わりたいと思いますけど。
1:39:53	それでは今日のヒアリングは以上にしたいと思いますどうもお疲れ様でした。
1:39:58	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。